

三番目は、ロシアと違ってVISAやMasterなどのクレジットカードが使えるということ。以前はカザフ、キルギスともカードが使える場所がかなり限られていましたが、ここ10年ほどの間に急激に変わりました。今やクレジットカード、デビットカードが街中で普通に使えますし、カザフスタンに至ってはほとんどがキャッシュレス決済になっています。

最後に、日本から比較的行きやすく、渡航費も安いことです。カザフのアルマトイへの航空路は、韓国(ソウル)経由でアジアナ航空が便利です。キルギスの首都ビシュケクへは、やはりソウル経由で韓国のLCC(格安航空会社)ティーウェイ航空が運航しています。運賃は時期によりますが片道約5~7万円です。

### 中央アジアでの留学の注意点

こう見ていくと、中央アジアでの留学はなかなか魅力的ですが、注意点がいくつかあります。

一つ目は、当たり前のことですが、これらの国々ではロシア語が母語ではないということです。現地の人たちはもちろんロシア語教育を受けているわけですが、発音や文法などがやはり正確ではなく、現地なまりであるとか、文法無視の言い回しもよく見受けられます。大学のロシア語の先生はもちろん綺麗なロシア語を話しますし、正確なロシア語を教えてください。けれども、街中でお店の人と話す時はいろいろなロシア語(笑)に出くわすことになります。

二つ目は、授業のコマ数が少ないこと。1週間=15 ac.hour アカデミックアワー(※)というのが、キルギス国立大学、カザフ国立大学の平均的な授業時間数です。これはロシアの大学の一般的な授業時間数に比べて4分の3くらいです。ロシアでは1週間=20~24 ac.hourなので、ちょっと少なく感じます。

また、夏休みの期間、6月後半から8月いっぱいには授業が行われません。

※アカデミックアワー=大学・学校での授業時間の単位。「1時間」は通常45分または50分。

三番目は、私費留学の場合、大学寮には基本的に入れないということです。キルギスではホームステイ、カザフではアパートまたはシェア・フラットを手配することが多いです。大学がよい宿泊先を紹介してくれることは少ないので、自力かまたは現地の知り合いを通して宿舎を探すことになります。

最後に、困ったことに、現地の受入条件はしばしば変更されることがあります。中央アジア諸国でロシア語留学生の受入が急増したのは、端的に言って2022年春以降のことです。ロシアへの留学が困難になって中央アジアに来る留学生が急に増え、現地の大学は急遽、留学条件を整備し始めたという事情があります。ビザの必要書類、研修条件=授業数や授業内容、授業料、住居の条件など変更されることがよくあります。前年はこうだったのに今年は違っているというようなこ

とが多く、手配に当たる私たちも気が抜けません。今後、留学生の受け入れがさらに拡大していけば、受入条件は安定してくるだろうと思うのですが、今のところはまだまだ変更される可能性があると思います。

### JICとしての取り組み

中央アジアに留学する人の中には、大学間の交換留学でカザフやキルギス、ウズベクの大学に行く学生さんもいらっしゃいます。交換留学の場合、現地受入大学の担当者が授業の選択や宿舎の手配、手続などを手伝ってくれるはずですが、私費留学の場合には基本的に自力でいろいろな手続きをする必要があります。

JICでは、現地に到着した直後の留学初期を不安なく乗り越えられるよう、サポート体制の整備に取り組んでいます。

まずは、到着時の日本語対応の充実です。現地で留学生をサポートしてくれる日本語のできる人と契約し、出発前からアパートやホームステイ先探しを依頼。到着時に空港まで出迎えて、翌日の入学手続きまでサポートしてもらいます。

また、出発前に現地サポーターとオンラインで顔合わせをして、住居条件を確認したり、到着時の不安や疑問に答える時間を作るようにしています。

面倒な手続きのサポートもあります。カザフスタンの場合、現地での必要書類の公証訳とその費用の支払い代行、キルギスの場合は留学ビザへの切り替え手続きや滞在登録のサポートなどを行っております。

詳しい条件等については、いつでもお問合せください。以上です。

## 【質疑応答】

質問1;留学生は現地でアルバイトができないということは、ビジネスロシア語は授業で学んでいくしかないのでしょうか?卒業後スムーズに現地で働く手段はどんなものがあるのでしょうか?

回答(岡本) ビジネスロシア語を学びたい場合、そういう授業を提供している学校を探して、ビジネスマンがよく使うロシア語表現やビジネス用語を専門的に教えてもらうことはできると思います。おそらく質問者が期待しておられる実践の場でのビジネスロシア語というのは、給料をもらわないボランティアという形ならどこかの会社で関われるかもしれませんが、しかし、留学中に堂々と給料をもらって仕事するのは難しい。ロシアでは法的に不法就労になってしまいます。「タダ働き」という言葉が悪いですが、ボランティアで関われる場所をロシア人の友人に紹介してもらえれば、それに近い体験ができるのではないかなと思います。

**質問 2 ; ロシア語留学を終えた後、そのまま日本に戻らずに現地で働きたいという場合、それは可能ですか？**

**回答 (岡本)** 留学生がそのまま現地に就職するというのは、これはビザの仕組み上無理ですね。思い切り頑張れば、留学中に現地で就職活動をして、採用決定までは多分できると思いますが、もしそうなったら一度ロシアを出て、改めて就労ビザを取得してロシアへ渡航するということになります。就職先がしっかりした会社だったら就労ビザの手続きまでやってくれるはずですが、しかし、自力でビザを取って来いと言われてたらその会社やめた方がいいと思います。なので、留学中になるべくいろんなコネクションを使って就職先を探されたいいいのではないかと思います。

**質問 3 ; 仮に、ロシア人のパートナーと結婚して配偶者ビザをとる場合、留学後もそのままロシアに居続けられるのでしょうか？ それとも日本に戻ってきた方がいいのでしょうか？**

**回答 (岡本)** ロシア人の方と結婚して正式に手続きをすれば、配偶者ビザでロシアに滞在し続けることができます。では、そのビザで現地の人と同じように就職して仕事ができるかというところ、詳しくは知りません。

配偶者ビザの場合、もしかしたら何らかの方法で、留学中に現地でビザを切り替えることができるかも知れませんが、正式な結婚の手続きをロシアでも日本でもしなければならぬと思います。現地で相談できる日本側窓口は大使館か総領事館です。ロシア側でも結婚の手続きで役所に行かなければなりません。

**質問 4 ; 現地の銀行で口座を開くために必要なものは、具体的に何でしょうか？**

**回答 (イリーナ)** 銀行によって書類が違いますが、ズベルバンク銀行で口座を開く場合に必要なのは、パスポート、ロシアの携帯電話番号、出入国カードの 3 点です。

SBI 銀行モスクワで口座を開く時はもう少し複雑です。特別のアンケート用紙に必要事項を書いて、日本の個人番号が必要です。モスクワの SBI 銀行には日本語のできるスタッフがいますから、直接 SBI 銀行モスクワに連絡して方法を確認することができます。メールでも電話でも連絡ができます。

**質問 5 ; ズベルバンク銀行で口座を開くのは、短期留学でも可能ですか？**

**回答 (イリーナ)** 短い滞在でも開設できますが、帰国前に必ず口座を閉める必要があります。すぐにまたロシアにもど

る場合には口座を閉める必要が無いかもしれませんが、私が銀行と何回か話した時には帰国する時に口座を閉めた方がいいと言われました。

**質問 6 ; 子連れで数ヶ月間の留学を考えているのですが、外国人でも現地で短期間、保育園などに子供を預けることができるのでしょうか？**

**回答 (クセーニア)** 今、詳しくは分かりませんが、ウラジオストクにある日本の総領事館や他の国の領事館の館員の子供たちは一般の学校に通っているの、なんとかできると思います。外国人向けに英語で対応している私立の幼稚園もあります。ただ、学生寮に子連れで住むのは無理だと思うので、アパートを借りる必要がありますね。

**回答 (イリーナ)** 私も詳しくないですが、モスクワには私立幼稚園があるので、そこは大丈夫かも知れませんが、子供を預ける費用がいくらかかるかは全然分かりません。

**質問 7 ; 通貨の両替をするときに日本の空港の両替所と、ロシア現地の両替所のどちらを使うと良いでしょうか？ 交換レートはどちらも同じでしょうか？**

**回答 (岡本)** 日本の空港ではロシア・ルーブルは両替できません。現地で日本円あるいはドルやユーロからルーブルに両替するしかなくて、日本円からルーブルに替えられる場所が少ないしまたレートも悪いので、出発前にあらかじめドルかユーロに替えて現地に行った方がいいですよというのが、本日の説明でした。

現地でルーブルに両替する時は、空港の両替所よりも市内の両替所の方がレートがよいと言われています。どうしても必要な空港では最小限の両替にとどめて、あとは市内で両替されたいと思います。ただ、市内でも銀行や両替所によってレートが違うので、よく見比べて、一番有利なところを選ぶのが賢明です。

**質問 8 ; 例えば、ロシアのモスクワに行く場合、直通便がないので、中国で乗り換えるルートか中東で乗り換えるルートになりますね。いくつかあるルートで、何を基準にそのルートを選べばいいのですか？**

**回答 (岡本)** モスクワ行きの場合、有力なルートとしては中東経由、中国経由、中央アジアのタシケント経由などがあります。何を重視するかでルート選びの答えは変わります。少しでも安い方がいいのであれば、その時調べて一番安く買えるルートが答えになります。航空チケット料金は、シーズンや予約の混み具合によって変動するので、予約時点で一番安いチケットを選ぶしかないと思います。値段ではなくて所要時間だという人もいます。所要時間が短いのは中国

経由です。北京経由でモスクワへ飛ぶのが、現状では最短ルートです。中東経由だと最低でも20時間は絶対にかかります。

それ以外にもいろいろ考え方があって、例えば預ける荷物が沢山ある場合に、荷物預かりの基準が緩い航空会社を選ぶというの也有ります。航空会社の客室サービスや安全性へのこだわりもあるかもしれません。重視したい条件から調べていただければいいかと思います。

**質問9** ; 24年10月発表のJIC短期語学研修料金表は、25年3月に行くとなると変わりますか？

**回答(小西)** 料金は基本的には変わりません。ただし、24年10月時点での為替レートに基づく料金表ですので、レートが大きく変動した際には調整する場合があります。特に大幅な変動がなければ、基本的には料金の変更はないと考えていただいで大丈夫です。

**質問10** ; 短期語学研修で、夏休み期間とか時期によって通常より料金が高くなることはありますか？

**回答(岡本)** 学校によっては、ハイシーズン料金を設けているところがあります。ただ、JICの短期随時研修の料金表はそういった条件を折り返込んで、夏休みだからとか気にしないでよい作りになっています。

**回答(小西)** 料金表に参考料金としている語学学校(デルジャービンとリデン&デンツ)は、別刷りの詳しいパンフレットに、「請求書発行時のレートで料金を最終的に出します」という注意書きがあります。それ以外の受入先は料金表通りです。

**質問11** ; 長期留学でモスクワ大学の10ヵ月料金は、4月出発と9月出発で料金は同じですか？10ヶ月より短い場合はどうなりますか？

**回答(小西)** 9月出発と4月出発で料金は違います。ロシアは9月が年度始まりで6月までの10ヵ月間が一つのパッケージとなります。日本の学期始まりに合わせて4月出発にするとそのパッケージが採用されないで、「現学期分(4-6月)+夏季分(7-8月)+次学期分(9-1月)」と細切れで計算するので、高くなります。

10ヵ月より短く、例えば6ヵ月とか7ヵ月留学する場合は、その分だけ安くなります。ただ、授業料は正確には週割で計算されるので、留学期間分を週換算して金額を出します。いずれにしても、10ヵ月ではない留学を希望の方には、出発時期や留学期間に合わせて個別に見積りを出して料金をお知らせしています。

**質問12** ; 手元にあるのは25年4月出発の料金表ですが、25年9月の料金はまた別に出されるということですか？

**回答(小西)** 長期留学については、春(4月)にその年の9月出発の料金表、秋(10月)に翌年4月出発の料金表を出しています。随時出発の短期研修については、4月にその年の6月~12月出発の料金表、10月に翌年1月~5月出発向け料金表を出しています。

**質問13** ; ロシアの物価上昇率はとても高くなっているように感じました。現地の人たちはどうやって生活しているのでしょうか？

**回答(クセーニア)** 「なんとか生活している」というのが答えですね。本当に物価は毎日高くなってきて、ちょっと苦しいです。買い物の回数を減らして、みんな節約して暮らしています。

**質問14** ; ロシア人は、仕事や利害が関係するとシビアだが、そうでない時は人懐っこくて親切と聞きますが、実際はどうなんですか？

**回答(クセーニア)** どうでしょう？人によると思いますね。ロシア人一般を言うのは難しいです。ただ、ロシア人は日本人と違って、自分の気持ちを直接表現します。嫌なときや気持ちが悪い場合、ロシア人はすぐ顔に表します。「言いたくない」「話したくない」とかですね。大丈夫なら、親切な顔で話します。

日本人がいつも驚くのは、スーパーマーケットですね。日本だと「いらっしゃいませ〜」「どうぞご覧ください〜」とみんな笑顔で対応していますが、ロシアでは店員はいつも素っ気ない顔をしています。不親切に見えますが、これもロシア人の普通の姿です。

**回答(岡本)** 是非ロシアに行って、ご自身で体験してみてください。

(2024年11月23日/JICロシア語留学セミナー)